

No. 549  
2017年  
4月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orj.or.jp/>

## ● 2017年度定時総会開催

定款第14条の定めにより、2017年度定時総会を下記の要領で開催いたします。代議員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会の議決権は代議員のみですが、正会員は出席し意見を述べることができます。出席される場合は、事前に事務局にご連絡ください。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

日時：2017年4月27日（木）17時～

場所：（一財）電力中央研究所 大手町ビル7F  
733大会議室

（〒100-8126 東京都千代田区大手町1-6-1）

### 総会次第：

1. 2016年度事業報告の件
2. 2016年度収支決算報告および監査報告の件
3. 2017-2018年度役員承認の件
4. その他

## ● 2017年秋季シンポジウム（第77回）

日程：2017年9月13日（水）

場所：関西大学 千里山キャンパス（大阪府吹田市  
山手町）第4学舎4号館3階4301教室

実行委員長：大西匡光（大阪大学）

## ● 2017年秋季研究発表会

日程：2017年9月14日（木）～15日（金）

場所：関西大学 千里山キャンパス（大阪府吹田市  
山手町）第4学舎2号館および同4号館

実行委員長：木村俊一（関西大学）

## ● 2017年度研究部会・グループ

先に募集を行いました2017年度研究部会・グループに今回も多数の申請書が提出されました。研究活動の公開性、実績等に照らして審査を行いました結果、別表のとおり研究部会・研究グループが承認されました（☆印は新設）。参加ご希望の方は、各部会・グループの主査・幹事までご連絡ください。

詳しくは、OR学会WEB掲載の各部会WEBをご覧ください。

（研究普及委員会）

## ● 2017年度新設研究部会紹介

### 〔エネルギーミックスの諸問題とOR〕

エネルギー源の多様化、電力・ガス市場の自由化等の変革下、スマートエネルギーネットワークの実現が期待されている。本研究部会ではIoT, AI, ICT等をベースにORによる課題の研究、方法論の開拓を進める。

### 〔オリンピック、パラリンピックとOR〕

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに向けて、宿泊施設の不足、観客の輸送、セキュリティの確保等の重要課題に対し、ORの理論と手法を適用することで解決することを目指す。

### 〔システム信頼性〕

部会URL：<https://sigrel.wordpress.com>

本研究部会は、システム信頼性理論とその応用技術が扱う諸現象の解析と評価のための数理モデリングの分野を軸として、研究発表・特別講演等を企画し、また近い分野の皆様のお話も交えつつ、各地で交流を展開します。

### 〔データサイエンスとマーケティング分析〕

本研究部会では、データサイエンスとマーケティング分析に関する分析の動向の調査、それらの環境を踏まえた情報技術・データ解析とマーケティングの分野を統合した方法論・フレームワークに関する研究、分析事例の開発を目指す。また、OR学会における情報、機械学習、統計解析、マーケティング研究者の情報交換を活発に行うことで、本分野の研究の振興を図る。

### 〔危機管理と防衛のOR〕

オリンピックやイベント開催で問題となる危機管理や緊急事態対処、警備計画の他、災害対策、都市計画及び安全保障といった分野の話題を取扱い、これらの意思決定に関するOR研究の推進、普及を目的とします。

## ● 研究部会・グループ開催案内

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

部会 URL : <http://www.oit.ac.jp/or/>

## ・第11回

日 時 : 2017年4月8日(土) 14:00~17:00

場 所 : サムティフェイム新大阪4F-G (大阪市淀川区西中島6-5-3) TEL: 06-6885-9000 (直通)  
<http://www.fame.hey.ne.jp/>

テーマと講師 :

- (1) 「待ち時間に制約のある M/G/1 待ち行列におけるロス確率の解析」  
井上文彰 (大阪大学)

待ち時間に制約のある M/G/1 待ち行列における客のロス確率を考察する。再帰的に定まる関数の無限列を用いたロス確率の公式が古くから知られているが、モデルのパラメータがロス確率に与える影響を直接評価することは難しい。本講演では、この関数列に対する確率的解釈に基づいた、ロス確率の新しい解析法を紹介する。

- (2) 「右側打ち切りデータを用いたソフトウェアの適応的予防若化方策」  
林坂弘一郎 (神戸学院大学)

本講演ではエージング現象に起因するシステム障害が発生するソフトウェアシステムに対して、障害時間の右側打ち切り時間データが得られる状況を想定する。この上で次の障害時間に関する確率分布をノンパラメトリック予測推論によって定式化し、アベイラビリティを最大にする最適予防若化スケジュールを適応的に導出する。

懇親会 :

- (1) 開催場所 : 居酒屋 魚人 西中島店  
(大阪市淀川区西中島3-13-11)  
TEL: 050-3466-8425  
[http://www.gyojin.jp/gyojin\\_nishinaka/](http://www.gyojin.jp/gyojin_nishinaka/)
- (2) 開催時刻 : 研究会終了後、17:30を予定
- (3) 費用 : 6,000円程度

問合せ先 : 中西真悟 (大阪工業大学)  
E-mail: [nakanisi.oit@gmail.com](mailto:nakanisi.oit@gmail.com)

〔待ち行列〕

部会 URL : <http://www.orsj.or.jp/queue/>

## ・第267回

日 時 : 2017年4月15日(土) 14:00~17:00

場 所 : 東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(W) 809号室

テーマと講師 :

- (1) 「待ち行列理論とシミュレーションとの連携」  
水野信也 (静岡理工科大学)
- (2) 「マルチンゲールと待ち行列ネットワークの漸近解析」  
宮沢政清 (東京理科大学)

問合せ先 : 佐久間 大 (防衛大学校)

E-mail: [sakuma@nda.ac.jp](mailto:sakuma@nda.ac.jp)

〔評価のOR〕

## ・第74回 学生発表会

日 時 : 2017年4月15日(土) 13:30~17:00

場 所 : 東京理科大学富士見校舎6階F602号室  
(千代田区富士見1-11-2)<https://www.tus.ac.jp/info/campus/kagurazaka.html><https://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

発表者と演題 : 学会HPをご覧ください

<http://www.orsj.or.jp/activity/sigannai.html>

問合せ先 : 廣津信義 (順天堂大学)

TEL: 0476-98-1001(ex.352)

E-mail: [nhirotsu@juntendo.ac.jp](mailto:nhirotsu@juntendo.ac.jp)

\*参加費無料・事前申込は不要です。学生さんも初めての方も気軽にご参加ください。

## ● 新宿OR研究会

〔第367回〕

日 時 : 2017年4月18日(火) 12:00~14:00

講 師 : 未定

テーマ : 未定

場 所 : OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費 : 2,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先 : 日本OR学会事務局

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

● 他学協会協賛案内

\* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問合せください。

・電気学会 電子・情報システム部門大会

日 程：2017年9月6日（水）～9日（土）

場 所：サンポートホール高松

主 催：一般社団法人 電気学会

協賛学会参加費：電気学会会員価格に準ずる

WEB：http://www.iee.jp/eiss/conf2017

## ● 2017年度研究部会・グループ一覧表

## 常設研究部会

	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	塩田茂雄 (千葉大学) shioda@faculty.chiba-u.jp	佐久間 大 (防衛大学校) sakuma@nda.ac.jp
2	数理計画 (RAMP)	土谷 隆 (政策研究大学院大学) tsuchiya@grips.ac.jp	北原知就 (東京工業大学) kitahara.t.ab@m.titech.ac.jp
3	評価のOR	廣津信義 (順天堂大学) nhirotsu@juntendo.ac.jp	施 建明 (東京理科大学) shi@rs.tus.ac.jp
4	意思決定法	西澤一友 (日本大学) nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp	杉浦 伸 (名城大学) shinsu@meijo-u.ac.jp
5	サプライチェーン戦略	竹田 賢 (青山学院大学) takeda@busi.aoyama.ac.jp	草刈君子 kimiko.kusakari@nifty.com

## 研究部会

	部 会 名	主 査	幹 事
1	アグリサプライチェーンマネジメント	蓮池 隆 (早稲田大学) thasuike@waseda.jp	加島智子 (近畿大学) kashima@hiro.kindai.ac.jp
2	最適化の基盤とフロンティア	岡本吉央 (電気通信大学) okamoto@uec.ac.jp	奥野貴之 (東京理科大学) t_okuno@ms.kagu.tus.ac.jp
3	数理的発想とその実践	杉原一臣 (福井工業大学) sugihara@fukui-ut.ac.jp	野際大介 (福井工業大学) d-nogiwa@fukui-ut.ac.jp
4	離散アルゴリズムの応用と理論	牧野和久 (京都大学) makino@kurims.kyoto-u.ac.jp	井出陽子 (三菱重工業(株)) yoko1_ide@mhi.co.jp 澄田範奈 (国立情報学研究所) sumita@nii.ac.jp
5	ORによる大規模インフラストラクチャー分析	三浦英俊 (南山大学) hmiura@nanzan-u.ac.jp	渡部大輔 (東京海洋大学) daisuke@kaiyodai.ac.jp
6	確率モデルとその応用	堀口正之 (神奈川大学) horiguchi@kanagawa-u.ac.jp	來島愛子 (上智大学) kurushima@sophia.ac.jp 吉良知文 (群馬大学/九州大学) kira@imi.kyushu-u.ac.jp
7	不確実性環境下の意思決定モデリング	北條仁志 (大阪府立大学) hojo@cs.osakafu-u.ac.jp	中西真悟 (大阪工業大学) nakanisi.oit@gmail.com
8 ☆	エネルギーミックスの諸問題とOR	中川慶一郎 ((株)NTTデータ数理システム) nakagawaki@msi.co.jp	宇田川佑介 ((株)構造計画研究所) yusuke-udagawa@kke.co.jp
9 ☆	オリンピック、パラリンピックとOR	鳥海重喜 (中央大学) toriumi@ise.chuo-u.ac.jp	田中健一 (慶應義塾大学) ken1tnk@ae.keio.ac.jp
10 ☆	システム信頼性	木村光宏 (法政大学) kim@hosei.ac.jp	田村信幸 (法政大学) tamura@hosei.ac.jp
11 ☆	データサイエンスとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) hsuzuki@ae.keio.ac.jp	朝日弓未 (東海大学) asahi@tsc.u-tokai.ac.jp 横山 暁 (青山学院大学) satoru@yokoyamalab.org
12 ☆	危機管理と防衛のOR	宝崎隆祐 (防衛大学校) hozaki@nda.ac.jp	片山隆仁 (一般財団法人 防衛技術協会) katayama@ksj.biglobe.ne.jp

## 研究グループ

	グループ名	主 査	幹 事
	地域課題解決のOR	鈴木 勉 (筑波大学) tsutomu@risk.tsukuba.ac.jp	石井儀光 (国立研究開発法人 建築研究所) ishii@kenken.go.jp

\*\*\*\*\*

## 日本オペレーションズ・リサーチ学会60周年記念事業 「研究者海外研修支援事業」対象者募集について

\*\*\*\*\*

60周年記念事業実行委員会

国際委員会

日本オペレーションズ・リサーチ学会では、2017年度に学会発足60周年を迎えるにあたり、標記支援事業を開始します。

### 【概要】

- ・海外の研究拠点に長期滞在経験のないOR研究者が、海外のOR研究拠点に中長期間滞在し共同研究活動を開始するための助成を行います。
- ・単発の国際会議発表に対する助成ではありません。

### 【背景と目的】

オペレーションズ・リサーチ（OR）の方法論に対する探求は、研究活動を国際的に展開することで一層の発展が期待できます。その上で国際的な研究ネットワークに入り込んでいくことが必要になりますが、そのためには少なくとも1ヶ月以上といった一定期間海外の研究拠点に滞在し、海外の研究者と直接的に知り合い共同研究に繋げるなど、継続的に交流するきっかけを持つことが重要です。また、とりわけ日本国内で博士号を取得した後数年間は、自らのテーマを確立していく上で難しい期間となる傾向があり、視野を広げる上でも国際的な舞台に出て共同研究者を見つけることは有効な手段となりえます。

そのような状況を念頭におき、本事業は、これまで海外のOR研究機関に滞在した経験のないORの研究者に対し、海外での共同研究拠点を築き国際的な研究者ネットワークに入り込んでいくための支援を行うことを目的とします。

本事業がこれまでの支援事業と異なるのは、国際会議などで単発の研究発表などを行うための資金援助ではなく、有望な研究者が1ヶ月程度以上、ORあるいはそれに関連する海外の研究拠点に滞在し、国際的な人的ネットワーク構築する活動を支援する点にあります。

このような人的なネットワークは、助成対象者個人にとって資するばかりでなく、長期的には学会全体の国際的交流の幅の拡大に資するものと期待しています。また有望な人材を選抜し海外に送り出すことは、日本のORの存在感を高めることにも繋がると期待しています。本年度は60周年記念事業として行い、次年度以降も継続していく予定です。

### 【募集概要】

以下の要領で支援対象者の募集を行います。

**募集定員：**2名

**支援内容：**1名につき50万円支給

**研修期間：**2017年度中の開始（出発日が2018年2月末日以前）で、出発日から帰国日までが4週間以上

**募集締切：**2017年5月1日（月）

（その後国際委員会内で選抜を行い、5月下旬の理事会での承認（決定）を予定）

**応募方法：**【申請書類】の項の内容を記した電子ファイルを電子メール添付にて事務局（jimukyoku@orsj.or.jp）宛てに送付（題目は「【60周年】海外研修支援応募」としてください）

**応募要件：**

- ・上記研修期間に海外のORおよび関連分野の拠点機関に滞在し、ORに関する共同研究活動に専念する意思があること
- ・応募時点で博士号を取得済みであること
- ・これまで海外の研究拠点におよそ2週間以上滞在して共同研究を行った経験がない、かつ、他の類似予算（在外研究予算など）を受けていないこと（ただし科研費などとの組み合わせ使用などは問題なし）
- ・渡航前までにある程度英語でのコミュニケーションを担保できること

\*この他、研修期間終了後、航空券の領収書などの提出、OR学会機関誌上での体験記の寄稿、（この援助により始めた（共同）研究について）研究口頭・論文発表での援助の明記、研究口頭発表での学会ロゴの使用を派遣対象者の要件とします。

**【申請書類】**

応募する場合は以下の項目を記入した申請書電子ファイルを、学会事務局まで電子メール添付で提出してください。申請に基づき国際委員会で審査します。選抜に際し応募者の共同研究実行可能性と将来性を重視します。申請時点での受け入れ先の内諾は必ずしも要しません。

- ・申請者情報（氏名、所属、電子メールアドレス、会員番号（OR学会員のみ記載））
- ・滞在計画（どのような研究機関、どういう研究者のいるところに、いつからいつくらいまで行くつもりでいるか）
- ・滞在中の達成目標（滞在中に目指すこと）および準備状況
- ・研究業績（シーズになる業績の有無、ネットワークを築く基礎力の有無、OR学会研究発表会や研究部会での発表の実績など）
- ・英語のコミュニケーション能力に関する情報、国際会議参加経験など
- ・参照人の連絡先（氏名、所属、電子メールアドレス（または電話番号））
- ・応募要件を満たしていることの確認
- ・[参考情報] 交渉状況（滞在予定先との関係・受け入れ内諾など）

※応募時点での受け入れ内諾は応募の際の要件ではなく、あくまでも参考情報です。

\*なお、学会ウェブサイト（<http://www.orsj.or.jp/members/or60kaigai.html>）より申請書の雛形ファイル（Microsoft Word docx ファイル）が利用可能です。

**【FAQ】**

- ・他の研究費予算との合算は可能ですか？  
もしその予算が在外費用補助を目的とする場合、不可能です。本事業は、国際的な共同研究機会の少ない研究者に新たな海外研修の機会を提供することを目的としているので、同様の目的の資金を得ている方を対象としません。一方で他の外部予算（たとえば科研費など）が認める場合で、かつ、合算して利用する予定の場合には、申請書にその概要（期間の分割計画など）を記載してください。
- ・複数の機関に滞在することも可能ですか？  
少なくとも1機関に2週間以上滞在する場合には認めます。ただし、支給額に変更はありません。
- ・応募に際し、滞在を希望する機関、あるいは、ホスト（受け入れ教員など）の事前の受け入れ承認は必要ですか？  
必須ではありません。ただし、もしその当てがある場合には「参考情報」として申請書にそれを記載してください。

\*\*\*\*\*

## 2017年度第1回 ORセミナー 『Python言語によるビジネスアナリティクス』

\*\*\*\*\*

**開催趣旨:** 実務家のための最適化・統計分析・機械学習などのオペレーションズ・リサーチの分野で必要となるツールの使い方をご紹介します。Python言語の文法を覚えた初学者にとって、デファクトスタンダードとなるライブラリを探す手間を省きます。Pythonのユーザーフレンドリーさと自由度の高さを体験しましょう。PCを持参することで、実行しながら確認できます。あらかじめ、Anacondaをインストールしておいてください。  
インストーラーのダウンロード：<https://www.continuum.io/downloads>

**日時:** 2017年5月13日(土) 10:00~17:00  
**会場:** (株)構造計画研究所 本所新館(地下1階レクチャールーム)  
〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3  
TEL: 03-5342-1065 東京メトロ丸の内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分  
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

**コーディネーター:** (株)構造計画研究所(以下KKE) 齊藤 努(OR学会研究普及委員)

**講師:** KKE 齊藤 努, 東邦大学 並木 誠, 東京海洋大学 久保幹雄, 東京理科大学 小林和博, 東京海洋大学 橋本英樹

**司会:** 東京海洋大学 久保幹雄

**定員:** 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

**プログラム:** (敬称略)

- 10:00~10:10 (S0)「**環境整備 DockerとAnaconda**」 講師: 齊藤 努
- 10:10~10:30 (S1)「**対話型シェルIPythonとJupyter**」 講師: 並木 誠  
インタラクティブに実行でき、記録・共有・再現に効果を発揮するIPythonの紹介
- 10:30~11:00 (S2)「**統計~線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰**」 講師: 齊藤 努  
3つの仮想事例で、線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰を紹介
- 11:10~12:00 (S3)「**データ解析**」 講師: 齊藤 努  
pandasによるデータ分析や可視化を紹介
- 13:00~13:40 (S4)「**機械学習**」 講師: 並木 誠  
機械学習の代表的なPythonモジュール: scikit-learnの主な分析手法を紹介
- 13:50~14:40 (S5)「**最適化~概要**」 講師: 久保幹雄  
最適化問題を分類し、幾つかの代表的な最適化問題に整理するとともに、各最適化問題を解くためのソルバーとモデラーを紹介
- 14:50~15:30 (S6)「**最適化~実践**」 講師: 久保幹雄  
数値最適化ソルバー Gurobi, PuLP, 非線形最適化ソルバー OpenOptを統一的使用するためのモジュール, ならびに制約最適化とスケジューリング最適化のためのモジュール (SCOP, OptSeq) を紹介
- 15:40~16:20 (S7)「**ネットワークと動的最適化**」 講師: 小林和博  
グラフ・ネットワーク関連解析のためのモジュールであるNetworkXと動的計画の設計法を紹介
- 16:20~16:50 (S8)「**Excel連携**」 講師: 橋本英樹  
ExcelとPythonの連携を行うためのモジュールxlwingsを紹介
- 16:50~17:00 **閉会挨拶** 司会: 久保幹雄

**参加費** (テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円。

**ORセミナー参加者特典:** 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

**申込方法:** メールタイトル「第1回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

**申込およびお振込み締切:** 2017年5月2日(火)

**振込先:** みずほ銀行 根津支店(店番号235) 普通1530801

**口座名:** 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会(正会員と参加費同額):** 日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(JSRPIM), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

\*\*\*\*\*

## 2017年度第2回 ORセミナー 『地理情報システム入門』

\*\*\*\*\*

**開催趣旨:** フリーのGISソフト「QGIS」を使って、国勢調査をはじめとする地理空間データを可視化、分析する方法を紹介します。実際の現場で、地理空間データを利用しようとする、そもそもどのようなデータが整備されているのか、どうやってそのデータを入手するのか、など最初から躓くことも多いと思います。本セミナーは、実務や研究で地理空間データを利用しようと考えている方にとって、最適なイントロダクションとなるでしょう。事前にQGISをインストールしたパソコンをご持参いただければ、実行しながら確認できます。(ダウンロードサイト：<http://qgis.org/ja/site/forusers/download.html>)

**日 時:** 2017年6月17日(土) 10:00~17:30  
**会 場:** (株)構造計画研究所 本所新館(地下1階レクチャールーム)  
 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3  
 TEL: 03-5342-1065 東京メトロ丸の内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分  
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

**コーディネーター・司会:** 中央大学 鳥海重喜  
**講 師:** 東京大学 貞広幸雄, 東京海洋大学 渡部大輔, 中央大学 鳥海重喜  
**定 員:** 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

### プログラム:(敬称略)

- 10:00~10:05 開催の挨拶 司会:鳥海重喜
- 10:05~10:55 (S1)「地理情報システムの概略」 講師:貞広幸雄  
地理情報システムとは?/地理情報システムでできること/活用事例
- 11:05~11:55 (S2)「地理空間データの基礎知識」 講師:貞広幸雄  
測地系・座標系/データモデル/標準地域メッシュ
- 13:00~13:50 (S3)「QGIS入門」 講師:渡部大輔  
基本的な操作方法/国勢調査データの入手/可視化
- 14:00~14:50 (S4)「QGISによる空間解析」 講師:渡部大輔  
検索・集計/バッファ分析/ボロノイ図/レイヤー分析
- 15:20~16:10 (S5)「QGISによる総合演習」 講師:渡部大輔  
ストーリー仕立て(例えば、防災)の演習
- 16:20~16:50 (S6)「地理情報システムの活用事例」 講師:貞広幸雄  
地理情報システムを活用した事例研究の紹介
- 16:50~17:10 (S7)「地理情報システムとOR」 講師:鳥海重喜  
ORの分野で地理情報システムがどう役立つか
- 17:10~17:20 閉会の挨拶 司会:鳥海重喜  
アンケート記入

**参加費**(テキスト代込み):正・賛助会員(協賛学会員を含む)5,000円,学生会員1,000円,学生非会員1,500円,非会員20,000円。

**ORセミナー参加者特典:**正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合,入会金は無料となり,かつ,2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

**申込方法:**メールタイトル「第2回ORセミナー参加申込」として,お名前,ご所属先,正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員,お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合,その旨お書きください。メール送信先:日本OR学会事務局 E-mail:[jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

**申込およびお振込み締切:**2017年6月9日(金)  
**振込先:**みずほ銀行 根津支店(店番号235) 普通1530801  
**口座名:**公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会(正会員と参加費同額):**日本経営工学会(JIMA),日本品質管理学会(JSQC),日本信頼性学会(REAJ),研究・イノベーション学会(JSRPIM),日本設備管理学会(SOPE-J),経営情報学会(JASMIN),プロジェクトマネジメント学会(SPM)



**2017年度年会費納入のお願い**

2017年度（2017年3月1日～2018年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの払込取扱票は、2017年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

**年会費専用振込み口座**

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 （株）ニホンオペレーションズリサーチ がっかい
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：（公社）日本オペレーションズ リサーチ学会
ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：（公社）日本オペレーションズ リサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円  
学生会員 5,000円  
シニア会員 7,200円  
\*手数料は払込人様ご負担でお願いします。  
\*お名前はフルネームでお書きください。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は2017年1月20日に「2017年度年会費」を引き落としさせていただきました。

**2017年3月ご卒業の学生会員の方へ**

1) **ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**  
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。  
2017年度の会費はそのままです。2017年11月に2018年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) **退会希望の方へ**  
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。  
2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055  
\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。  
（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）  
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。